

# ネットワーク遅延の影響を軽減する CVP の Survivability.tcl スクリプトの「wan-delay-ringback」設定

## 目次

[はじめに](#)

[問題](#)

[解決策](#)

## 概要

この資料は Cisco Unified Customer Voice Portal ( CVP ) サーバと音声 XML ( VXML ) ゲートウェイ間のネットワーク待ち時間が 200ms ラウンドトリップにアプローチするか、または超過するとき問題およびソリューションを記述したものです。

## 問題

CVP サーバと VXML ゲートウェイ間のネットワーク待ち時間は 200ms ラウンドトリップより大いに小さい期待されます。 Round Trip Time がこれにアプローチするか、または超過する場合、CVP Interactive Voice Response ( IVR ) パフォーマンスは次の通り大きく影響します:

- コールドロップ。
- される VXML アプリケーション オーディオ無し。
- microapp はうまく働きますが、VXML アプリケーションは 5 秒に ( helloworld アプリケーションのような ) オーディオかオーディオを遅れませ経験しません。

## 解決策

CVP 8 ソリューション リファレンス ネットワーク デザイン ( SRND ) のネットワーク待ち時間セクションは VXML サーバと VXML ゲートウェイ間のネットワーク待ち時間による VXML アプリケーションからの遅らせられたオーディオの効果を減らすために潜在的な回避策を記述します。この回避策はサバイバビリティ Tool Command Language ( tcl ) スクリプトを設定し、「WAN 遅延呼出し」機能をアクティブにすることです。設定例はこの survivability.tcl スクリプト断片で示されています:

survivability.tcl スクリプトは「wan\_delay\_ringback」が「CCB」変数と同じようなグローバル変数であることを示します。従って、このサービスパラメータに値を提供するためにパラメータ「キーワード」設定を使用する必要があります。

application

service cvp-survivability flash:survivability.tcl

paramspace english language en

paramspace english index 0

param ccb id:192.168.249.10

paramspace english location flash

**param wan-delay-ringback 1**

paramspace english prefix en

!

survivability.tcl スクリプトはまた「ringback.wav」ファイルがサバイバビリティ アプリケーションが見つけられる入力ゲートウェイ フラッシュするで保存される必要があることを提案します。これはパラメータが 1. に設定 されたらスクリプトが ringback.wav ファイルをするようにします

。